

平成24年度文化財保護審議会会議録

日 時：平成25年3月27日（水）午後2時00分～3時30分

場 所：鴨川市文化財センター学習室

出席者：佐藤恵重 小谷善親 浅岡力 藤崎史正 菊池慎一 杉山春信

山田利博委員欠席

教育委員会

教育長野田純 生涯学習課長黒野雅典 主査石川丈夫 副主査高橋誠

1. 開 会 司会 事務局

2. 挨拶 野田教育長

3. 議 件

佐藤会長が議長となり、会議次第に沿って審議が進められた。

(1) 報告

1. 伊八作品の樹種鑑定について
2. 清澄の大スギの保存整備事業について
3. 説明板整備事業について

・画像1・2・3、資料1に基づいて、事務局から説明を行い、各委員からの意見を伺う。

教育長、所用のため退席。

○スギカミキリの調査結果はどの程度だったのか。(議長)

※事務局より粘着テープの結果写真を配布

・詳しい調査結果はこれからとなるが、スギカミキリが発見されているため、引き続き、同様の粘着テープによる駆除を計画している。調査結果を踏まえ、効果的なテープの貼付位置などを検討していくことになる。3年ほど継続すれば、高い駆除効果が期待できるとの話は聞いているが、調査結果の報告書を見て、県文化財課担当職員と協議しつつ進めていく予定。(事務局)

○幹の内部の空洞化が進行しているように聞き及んでいるが、樹勢などはどうなのか。(議長)

・樹勢が良いと枝が伸び、頭が重い状態でバランスが悪くなる。空洞がどのくらいあるから倒れやすいといった数字的なものは難しいと山田委員から聞いている。(事務局)

○スギカミキリの被害は緊急性があるのか。(藤崎)

・3年継続した駆除で大スギ単体のスギカミキリは大幅に減らせると、調査したNPO法人から報告を受けている。ただ、清澄地域には他にもスギが多く、スギカミキリの根絶は難しいと考えている。(事務局)

○清澄の景観の中ではスギの要素が大きい。境内にも倒木すると建物に影響するスギが多くある。大スギだけではなく、境内のスギも含め、清澄寺と協議しつつ、対策を検討してもらいたい。(議長)

○説明板について、1か所いくらかの費用か。(議長)

・設置まで含め約10万円。(事務局)

○まだまだたくさんあるので、年間の設置件数を増やせたらと思う。(議長)

その他になれば、以上で1から3の議件は終了する。(議長)

4. 企画展「戦国の鴨川」について

5. 企画展「鴨川の石造物100選」について

6. 県指定文化財の展示について

・画像6、資料2・3に基づいて、事務局から説明を行い、各委員からの意見を伺う。

○展示される大山不動の不動明王は、本体のほうか。(議長)

・前立の像ではなく、厨子内の像になる。関係者、業者立会のもと打ち合わせをし、童子、後背・台座も展示予定。(事務局)

○大山不動の倶利伽羅竜は、伊八作がどうかは不確定だったはずだが、今回断言されている。誰が判定したのか。今後、どのように伊八作品の断定をしていくのか。(杉山)

・現状ではそうした基準はない。今回については、担当者や関係者数名で認定したと思われる。公にしつつ議論をして特定させるのも一つの方法と考えられる。(事務局)

○個人の考え方で変わってしまってはいけない。それらを評価する組織が必要なのではないか。(議長)

○確実に伊八と思われるものほともかく、銘がないものは注意しなければならない。判定する基準、目安みたいなものをまとめておいて議論して決めたらどうか。(藤崎)

○いろいろと研究されているが、伊八と断定できる人は現段階ではない。現状では無理ではないか。(浅岡)

○倶利伽羅竜の材質は何か。(議長)

・彫刻師である稲垣氏の話によると、クスと判断される。(事務局)

○倶利伽羅竜は、大山の火祭りと関係があるのか。その関係次第では、作成した時代の手がかりになるのではないか。(浅岡)

○今の段階では使われている。過去はわからない。(杉山)

○天津の自性院でも火祭りは行われている。そちらは俱利伽羅竜のようなものはあるのか。(浅岡)

・今のところ確認していない。自性院は火災による被害を受けており、古いものはほとんどない。また、火祭りは真言宗になってから取り入れられたとの説もあり、はっきりしたことはわからない。(事務局)

○風流祭りはあるが、戦前など昔はやっていたのか。(議長)

○それがわかれば、俱利伽羅竜も時代が断定できる。不動堂が建てられた時期の大山不動の状況がわかれば関係性がわかってくるのでは。(藤崎)

○そうした調査が進めば、火祭り、大山不動、火祭りが結びついてくれば、はっきりしてくる。(議長)

○大山不動を管理していた安田家の文書にも、伊八や火祭りに関する資料はない。(浅岡)

○他の作品との類似点はあるのか。(杉山)

・不動堂と同じ作風と考えている。伊八と考えてよい。(事務局)

○以前、ここで議論された文化遺産はどうなったのか。(杉山)

・残念ながら、現状として、進展していない。進めていけるところから進めていきたい。(事務局)

○文化財とはまた違った視点、価値観がある。素晴らしい計画なので、進めてほしい。(杉山)

○今後、文化財の候補になりそうなものはあるのか。(議長)

○今回の石造物展に伴う調査で、これらのものから候補に該当するものがあるかもしれない。(浅岡)

○石造物は、保存・保管が難しい面があるが、検討の余地はある。(事務局)

○長狭方面には、昔の水田の景観を残しているところがある。景観の指定も検討してもよいのではないか。(杉山)

○戦国展も開催され、城郭の調査を進めたらどうか。将来的には、文化財指定に向けて検討して行ってほしい。(佐藤)

・企画展の効果もあり、情報が入りつつある。資料館としても現地確認をするなど、調査を継続している。(事務局)

○以前、審議した曾呂の神宮寺の宝篋印塔について、今回100選に指定されているが、その後の指定に向けての状況はどうか？(藤崎)

・地元の反応はない。今回、100選になったということもあり、再度、打診し地元と協議していきたい。(事務局)

(2) その他

黒野生涯学習課長より、文化財指定の候補選定・清澄の大スギの調査結果の補足、

任期満了による委員委嘱、職員の異動の報告がなされた。

以上で会議を終了する。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

平成25年4月5日

会議録署名人 小谷 善親